



エイチシー ヒョウゴ ハーツ HC HYOGO HEARTSが優勝(6月5日)

市内を拠点に活動するホッケーのクラブチーム「HC HYOGO HEARTS」の小学生男子チームが、滋賀県で開かれた「IBUKI CUP 2022」に出場し、見事優勝を果たしました。大会には全国各地から18チームが参加。ハーツは予選リーグ2試合を計12点と圧倒的な攻撃力で勝ち上がり、続く決勝トーナメント2回選(準決勝)でも各務原市ホッケースポーツ少年団(岐阜県)に1-0で勝利。RED OX 石動ホッケースポーツ少年団(富山県)との対戦となった決勝戦では、後半立て続けに失点し1-2とリードを広げられるも、すぐに追いつき逆転勝ちで優勝しました。主将の太野垣響己さんは、「次は夏の全国大会で優勝したい」とその喜びを語りました。なお、篠山・丹南中学校とハーツの合同チームで出場した中学生男子チームは、準決勝で今大会優勝の織田中(福井県)に敗れ4位となりました。



「篠山よさこいまつり2022」開催(5月29日)

新型コロナウイルス感染拡大の影響で2年連続中止となっていた「篠山よさこいまつり」が大手前南駐車場で3年ぶりに開催されました。県内を中心に12チームが出場。華やかな衣装を身に付けた踊り手が躍動感あふれる踊りを披露しました。まつりには、市内から「丹波篠山楽空間」「輝楽」「篠恋」の3チームが出演。華麗な舞を披露し、会場を大いににぎわせました。

トライやるウィーク(6月6日～10日)

市内各中学校でトライやるウィークが行われました。6月6日、にしき保育園に取材に行き、西紀中学校からの参加者3人にインタビューをしました。

「なぜ保育園を選んだのか」という質問に、藤原さんは「保育士になることが幼い頃からの夢だったから」、湊さんは「子どもたちと関わってみたいから」と話され、「トライやるウィークの1週間の目標は」の質問に、谷口さんは「自分から動いて行動することを頑張りたい」と話してくれました。



この記事の原稿と写真を担当してくれました。

西紀中学校2年 安田陽奈さん

故河合雅雄先生追悼記念誌・記念映像の配布期間を延長します

丹波篠山市名誉市民河合雅雄先生のご逝去を悼み、雅雄先生の自然やふるさとを愛する思いを未来に受け継いでいくため追悼記念誌・記念映像「自然に遊ぶ」を作成しました。好評により配布期間を延長しますので、ご希望の方には、下記の通り配布いたします。

- 配布期限** 7月29日(金) 8時30分～17時15分(土日祝除く)
- 配布場所** 市役所本庁舎3階秘書課 または各支所 ※郵送での配布不可
- 問い合わせ** 秘書課 ☎552-5109



「マメに見守り隊」協定締結(6月10日)



医薬品などの販売を行う櫛ヶエスケー柏原支店が「マメに見守り隊」に加入しました。仕事を通じて高齢者などの見守りや声掛けなどを行い、異変があれば市へ連絡します。山本茂弘執行役員兵庫第二営業部長(写真右)は「地域とともに成長していきたい」と話されました。

学校給食65周年記念献立(5月10日)



市の学校給食が開始から65周年を迎え、記念献立が小中学校や幼稚園などで提供されました。メニューは、丹波篠山牛、山の芋などが入った篠山まるごと丼やシシャモなど。お祝いとして紅白団子が添えられ、子どもたちはおいしそうにほおばっていました。

丹南ライオンズクラブからウクライナ募金(5月30日)



丹南ライオンズクラブ(雪岡尚弘会長・14人)では、ウクライナの人々の苦しみに思いをはせ、ウクライナの人々を支援するため募金活動を実施。14万226円の善意が集まり、日本赤十字社丹波篠山市地区長である酒井市長に手渡されました。

大国寺と丹波茶まつり(6月4日)



県内最大の茶どころで知られる味間奥では、第40回「大国寺と丹波茶まつり」が、大国寺や茶の里会館周辺で3年ぶりに開かれました。まつりは、新型コロナウイルス感染拡大の影響で通常2日間の日程を1日に縮めて開催。大国寺に新茶を献上する「丹波茶壺道中」で祭りの幕が開き、茶摘み・手揉み体験などのイベントをはじめ、お茶や野菜の販売、茶娘の写真撮影も行われ、会場は終始にぎわいをみせていました。